



カッカッカッカッ





彼女がいいからね

ガイアのやつ
また余計なお世話を

…一人になっちゃった

百年前と地形が
変わってなければね

ボク秘密の花火スポット
知ってるよ

スケールがデカい

そうと決まれば

ギヤー

あ…

せっかくだし
ボクと君で楽しもうよ





風が撫ぜるように
滑らかに入っていく

舌の先っぽが
確かめるように触れて

ぶつかる

ウェンティのくせに

お前

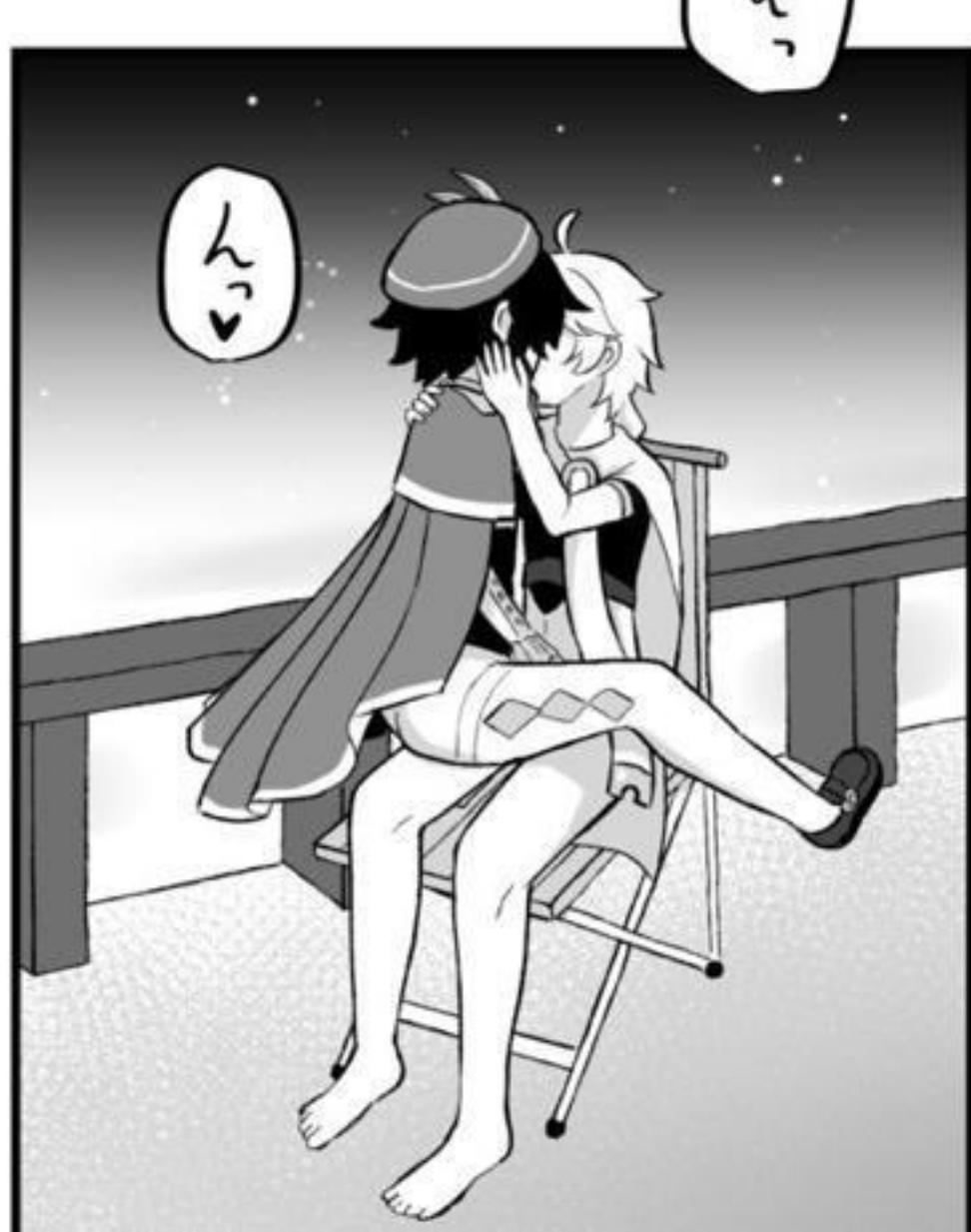
早くも
当たってる…

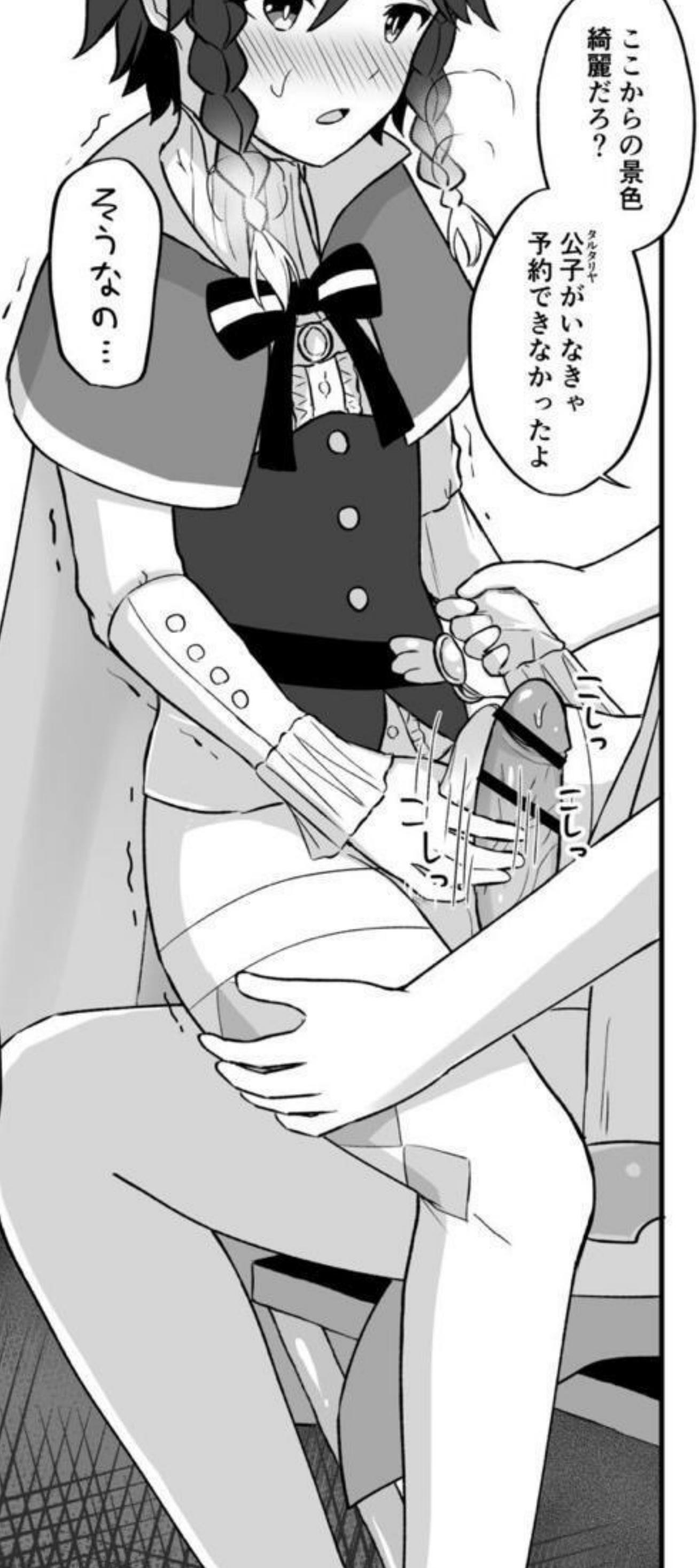
んぢゅ

ん
く
!?

!!

!!





タルタリヤ
公子がいなきや
予約できなかつたよ















快樂に蕩けた
メスの顔に

皆といたときの
涼しい顔が













お前にすらちゃんと
言えなかつたけど

一緒に旅するときのお前は
モミンド人の風神でもなれば

自由の象徴でもなく

放浪するしかなかつた
吟遊詩人でもない

誰にでも言いたい
と思つてゐる

俺のウエンティだつて





それからはもう
無我夢中だつた

お互
い
気持
ちよ
くな
るこ
としか
考
えられ
なくな
つて

ウェンティの小さな身体に
睾丸の全精液を流し込んだ

気づけば――

チュン

チュン

今
の何
発目
だつ
け…

わ
か
ん
な
い…

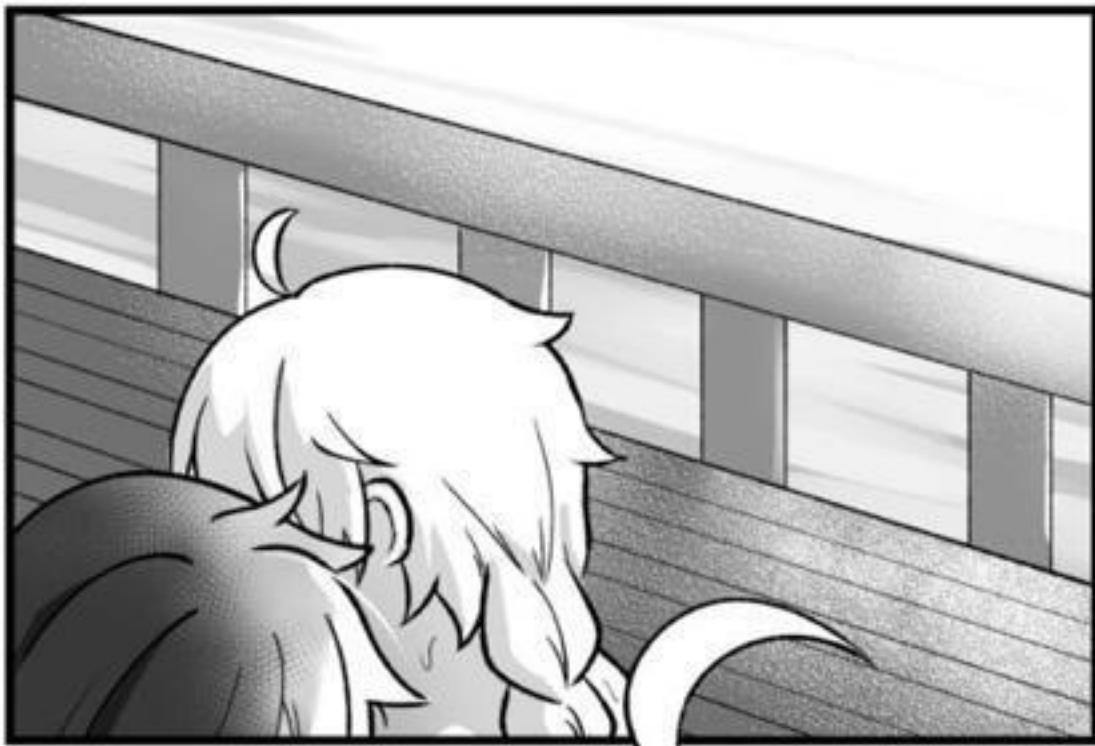
ボクが女の子だったら
きっと赤ちゃん
できちゃってるよね…

異国の港から
祭ばやしが再び聞こえる

結局バイモン
連れて行かれたままだ…

気づけば
あんなに光っていた
提灯がすっかり見えなくなり

メスガ
ガイア…

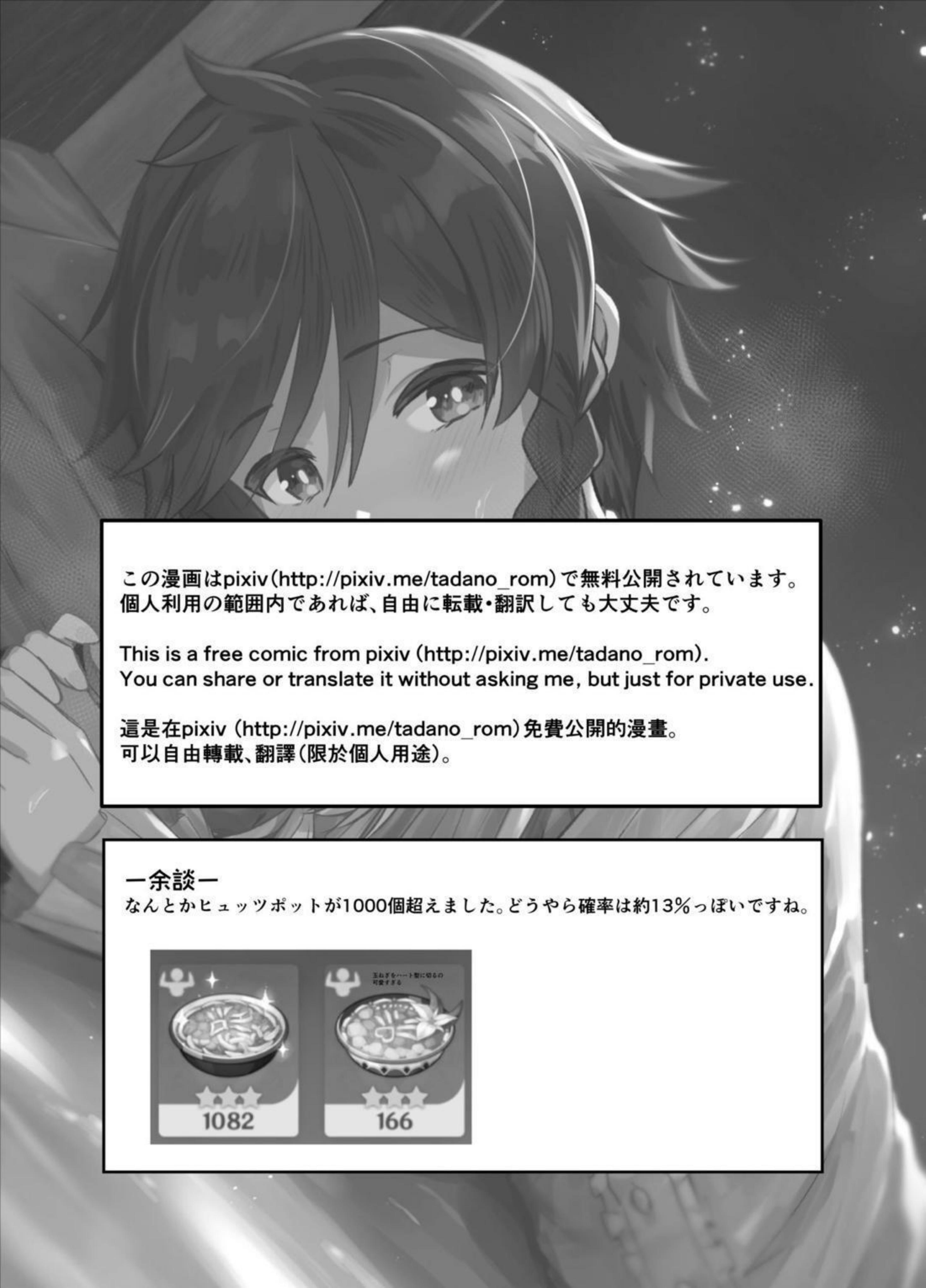


今更だけど
寝るか
ん…
もうちょっとだけ
こうしていようよ

初めての海灯祭の
翌朝は

…そうだな

ぼうとした頭で
その音を聞いていた



この漫画はpixiv (http://pixiv.me/tadano_rom) で無料公開されています。
個人利用の範囲内であれば、自由に転載・翻訳しても大丈夫です。

This is a free comic from pixiv (http://pixiv.me/tadano_rom).
You can share or translate it without asking me, but just for private use.

這是在pixiv (http://pixiv.me/tadano_rom) 免費公開的漫畫。
可以自由轉載、翻譯(限於個人用途)。

一余談一

なんとかヒュッツポットが1000個超えました。どうやら確率は約13%っぽいですね。

